

# 農の風景育成地区の指定におけるこれまでの経緯



ワークショップで行ってきたこと、テーマ別検討会や篠崎高校の取組の一部を紹介いたします。

**第1回ワークショップ**  
 開催日：令和4年4月23日（土）  
 参加者：30人

住民と農家、それぞれの立場で「鹿骨」や「農」への想いを話し合いました。

**<ワークショップ以外の取組み>**  
**テーマ別検討会**  
 3つのテーマに分かれ、農家訪問などを行いながら検討しました。



**第2回ワークショップ**  
 開催日：令和4年6月18日（土）  
 参加者：48人

「担い手」、「PR」、「食育」の3つのテーマで住民主体でできるアクションを検討しました。

**篠崎高校で野菜づくり**  
 栽培経験のない生徒が多かったので学校で野菜づくりを始めました。

**販売ボランティア体験**  
 イベントで直売を、忙しい農家さんに代わって区民が行いました。



**第3回ワークショップ**  
 開催日：令和4年10月29日（土）  
 参加者：30人

テーマ別検討会を踏まえ、3つのテーマ間でアイデアを共有し、今後展開するアクションの検討を深めました。



**第4回ワークショップ**  
 開催日：令和4年12月3日（土）  
 参加者：22人

これまでのアイデアを整理し、今後「農の風景育成」に地域のみならず取組んでいくためのスローガンを検討しました。



## 令和5年度以降の進め方



鹿骨の魅力である農と住環境が調和したまちなみ保全のため、地域連携により農の風景の保全に取り組んでいきます。

- 《取組①》イベントの開催や情報発信など、**農を守る機運の醸成**を行います。
- 《取組②》営農者の困りごとをもちに、**区民ができるサポート活動**を展開します。
- 《取組③》農業の継続が困難となった**農地の公的活用**を推進します。

各取組を地域連携により推進するため、農の風景育成ワークショップを継続するとともに、地域の方を中心とした「検討会議」を立ち上げます。

今後、活動を展開していくので、一緒に企画してくれる方を募集しています！

▲農の風景育成ワークショップ参加者募集用QRコード



発行・問合せ **江戸川区 都市開発部 都市計画課**  
 令和5年3月発行  
 〒132-8501 東京都江戸川区中央一丁目4番1号  
 TEL 03-5662-6369（直通） FAX 03-5607-2267



（農の風景育成ワークショップのホームページにアクセスできます）

# 鹿骨地域 農の風景育成

# まちづくりニュース vol.2



鹿骨地域が「農の風景育成地区」に指定されます！

**目標** **手をのばせばつながる**  
 ～歴史と農の広がるまち鹿骨～

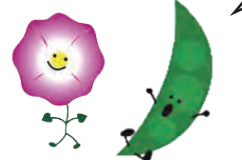
鹿骨の魅力である農と住環境が調和したまちなみを保全し将来へ承継するため、農家と地域住民、行政が協力して、魅力の発信や農を守る機運の醸成、農家の支援などを行い、地域連携により農の風景の保全に取り組めます。

### 取組みの方針

- ① 農を保全する機運の醸成や地域の魅力を発信します
- ② 農家のやりがい向上と農地の保全や活用をします
- ③ 地域と連携した農の風景保全の取組みを展開します
- ④ 農と区民がふれあう機会の創出、拠点の整備をします

※農の風景育成地区の指定により、規制がかかることはありません。

今後、鹿骨地域で行っていく取組みを、中面の構想図で紹介しているよ！みてみてね！



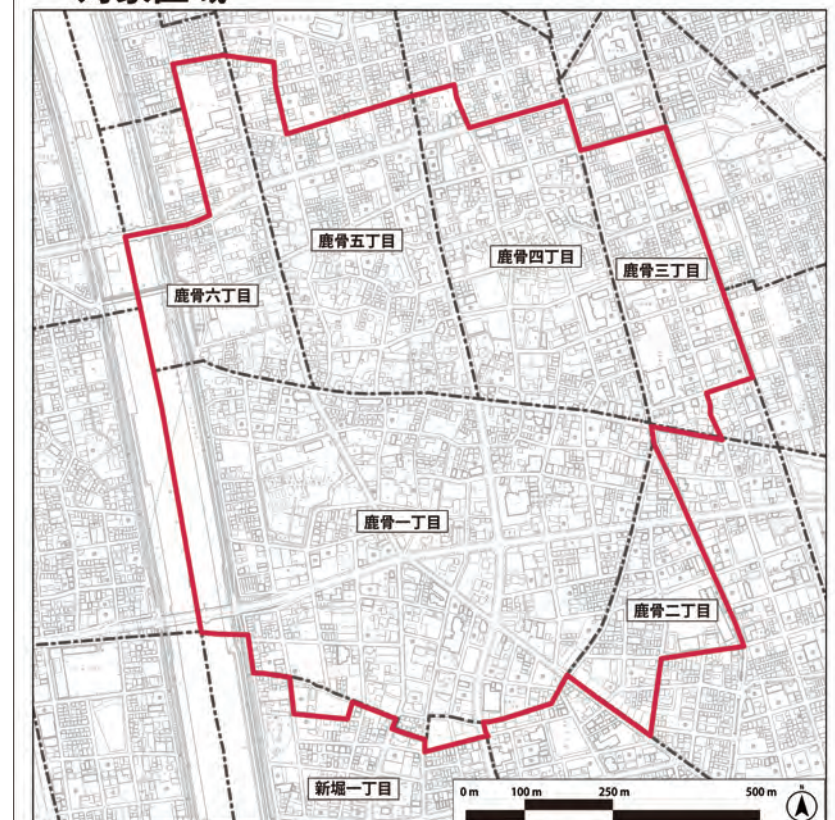
昨年行ったワークショップの意見をもとに、鹿骨の農の風景を地域の皆さんと一緒に守っていくための計画書を作成しました。今後東京都に申請を行い、3月末に地区指定を受ける予定です。

### 農の風景育成地区とは

比較的まとまった農地が残り、特色ある風景を形成している地区について、地域との連携により農のある風景を保全・育成していくための制度です。（平成23年施行の都制度で、現在5地区が指定されています。）



### 対象区域



鹿骨地域 農の風景育成地区

# 手をのばせば つながる

～歴史と農の広がるまち鹿骨～

スローガンには  
次のような想いが込められています。

## “手をのばせば”

身近なもの  
行動しなければ触れられない

## “つながる”

歴史、地域、世代、  
美り、体験など

## “ひろがる”

農地、空、人脈、  
未来、経験など

「農家の生業としての農業」と「区民がふれあう農業」のバランスを取りながら、地域主体のまちづくりを推進します。



方針④ 農業公園の整備

◆営農継続が困難となった農地を公園にすることで農の風景を保全します。

- 〈考え方〉
- ・地域との連携や交流の拠点として活用します。
  - ・農に触れ、学び、農家との交流を通じた農のファンを育成します。
  - ・地域内の農地や既存施設と連携し、まち全体で機能を発揮します。

### 【凡例】

	生産緑地		主な都・区施設		農産物直売所
	区民農園		神社・寺院		親水緑道
	宅地化農地		公園・緑地		農の風景育成地区



地域の人がみんなで参加して  
取組んでいくことを目指して  
います！

鹿骨ですすめる  
地域連携の取組例



方針① 農の風景ワークショップの実施



方針① 看板の活用など多彩な情報発信

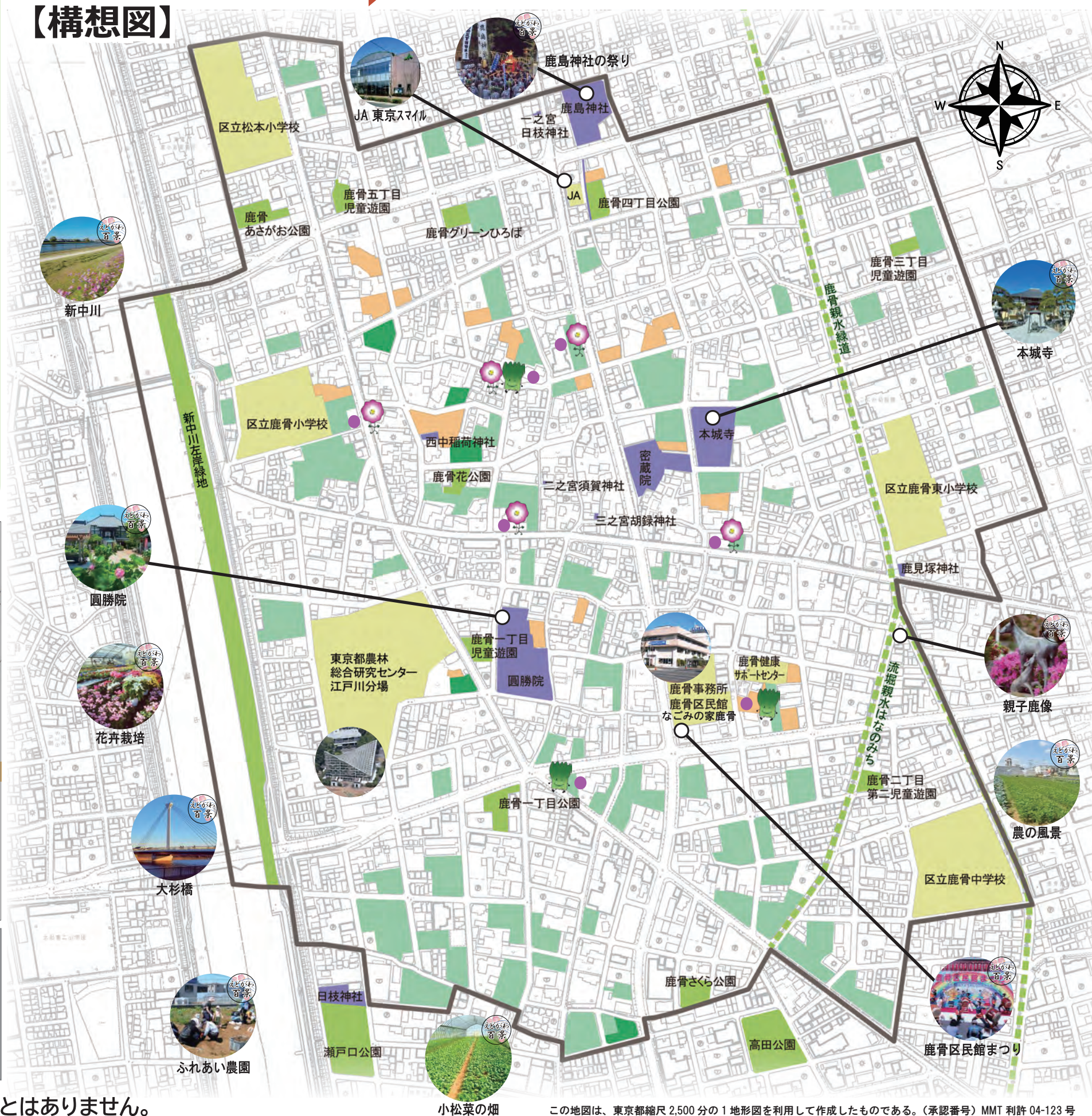


方針① 利用者目線での刊行物作成



方針② 学校等と連携した食育の推進

## 【構想図】



方針② 生産緑地の指定による農地の保全



方針② 労働力を補う農業ボランティア育成



方針③ 地域連携による農家のサポート



方針③ 地域イベントと連携した農のPR



方針③ 多様な主体の連携による取組みの推進



方針④ 区内産花卉 PRのための花のみちづくり



方針④ 区民農園やふれあい農園の推進

※農の風景育成地区の指定により、規制がかかることはありません。

この地図は、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号) MMT 利許 04-123 号